

コロナ禍における小学校特別支援学級での取り組みの経過

The progress of teaching and supports provided for children with special education needs during coronavirus pandemic - Actual situations of special needs classes in elementary schools.

竹澤 大史

TAKEZAWA Taishi

(和歌山大学教職大学院
・講師)

福田 規江

FUKUDA Norie

(和歌山県立紀北支援学校
・教諭)

山本 知佳

YAMAMOTO Chika

(和歌山市立四箇郷北小学校
・教諭)

岩崎 朝蔵

IWASAKI Asazo

(和歌山市立四箇郷北小学校
・教諭)

村木 美奈

MURAKI Mina

(和歌山市立四箇郷北小学校
・教諭)

成末 昂矢

NARUSUE Koya

(和歌山市立木本小学校
・講師)

谷本 沙紀

TANIMOTO Saki

(和歌山市立太田小学校
・教諭)

武田 鉄郎

TAKEDA Tetsuro

(和歌山大学教職大学院
・教授)

受理日 令和4年1月31日

抄録:小学校特別支援学級におけるコロナ禍の取り組みの経過について、特別支援学級の担任を対象に調査を行った。登校時の体温チェックや学校内でのマスクの着用、消毒や掃除の指導などは、2020年の臨時休業措置期間以降、学校が全面再開された後も継続して行われていることが分かった。また、他者との距離の取り方や給食時の留意点など、継続的な支援によって児童に知識とスキルが定着していることや、授業参観や学校行事などは徐々に再開され、またICTの活用が進み、オンライン授業などが行われていることが明らかになった。

キーワード: コロナ禍、小学校、特別支援学級、アフターコロナ

1. はじめに

文部科学省は、「特別支援学校等における新型コロナウイルス感染症対策に関する考え方と取組について」(2020)や「新型コロナウイルス感染症に対応した持続的な学校運営のためのガイドラインの改訂について」(2021)を示し、特別な教育的ニーズのある児童生徒への基本的な配慮や、学習面での支援について、具体的な取り組みを紹介している。その中で、実践の事例やマニュアルを参考にする際にも、児童生徒の障害や発達の状況等を考慮し、個別の状況に応じて対応することを強調している。項目として、登下校、消毒、感染症予防のための指導等、感染リスクの高い学習活動への対応、給食、寄宿舎、居場所の確保・放課後等デイサービスとの連携等、ICT等を活用した家庭における学習、医療的ケアが必要な児童生徒等への対応などが挙げられている。

武田ら(2020)は、特別支援教育コーディネーターを対象に、特別支援学校におけるコロナ禍における取組について調査を行い、コンサルテーションを進めるために特別支援教育や教育相談に関する専門性を高め

ること、感染予防やICTに関する知識・技術を高めること、医療機関や福祉機関との連携を深めることの重要性を指摘している。

大谷ら(2021)は、小学校・中学校の特別支援学級におけるコロナ禍での児童生徒への指導・支援についての事例を紹介している。その中で、臨時休業措置期間中(臨時休業期間、分散登校、学校再開後)の小学校特別支援学級の児童への指導・支援の状況について調査を行った。コロナ禍の臨時休業が、通学を含め、児童が規則正しい生活を送ることを困難にしたことを指摘し、児童への生活面及び学習面における支援の必要性を指摘している。

新型コロナウイルス感染症による社会への影響が続き、今後も予断を許さない状況の中、特別な教育的ニーズのある子どもが経験している学校生活における変化の要因について調べ、彼らが安心して学校生活を送ることができるよう指導・支援を充実させることは重要である。

本稿では、コロナ禍における小学校特別支援学級での状況について調べ、アフターコロナ社会に向け、今後必要とされる取り組みの示唆を得ることを目的とする。

2. 方法

2020年10月及び2021年10月に、A県内の小学校3校（B、C、Dとする）の特別支援学級の担任計4名を対象に、期間中の学校・学級における支援・取り組みに関する調査票を配布し、自由記述で回答を求めた。

3. 結果

3. 1. 2020年4月～9月の状況

2020年4月から9月までの状況を表1に示す。武田ら（2020）の報告を参考に、自由記述の内容を、「登校時・下校時」、「教室環境、換気など」、「給食」、「基本的な対策・指導」、「掃除」、「授業」、「授業参観、懇談会、家庭訪問など」、「学校行事」に分類し、B・C・D校の状況をそれぞれ示した。

3. 2. 2020年10月～2021年10月の状況

2020年10月から2021年10月までの状況を表2に示す。武田ら（2020）の報告を参考に、自由記述の内容を、「登校時・下校時」、「教室環境、換気など」、「給食」、「基本的な対策・指導」、「掃除」、「授業」、「授業参観、懇談会、家庭訪問など」、「学校行事」に分類し、B・C・D校の状況をそれぞれ示した。

3. 3. 2020年4月～9月と2020年10月～2021年10月との比較

「登校時・下校時」、「教室環境、換気など」、「給食」、「基本的な対策・指導」、「掃除」、「授業」、「授業参観、懇談会、家庭訪問など」、「学校行事」に分類した記述には、学校全体の取り組みに関する内容も含まれていた。

2020年4月から9月と2020年10月から2021年10月の状況を比較すると、まず、「登校時・下校時」については、引き続き集団での登下校が制限されていた。家庭での健康状態の記録や学校での検温なども継続している。また欠席の扱いや出席停止などの対応についても同様であった。「教室環境、換気など」では大きな変化はみられなかった。「給食」については、前を向いて会話せずに食べる、おかわりの小皿を用意するなどの工夫がみられた。歯磨き時に歯磨き粉を使用しないという取り組みもみられた。「基本的な対応・指導」については、マスクの着用や手洗い、手指の消毒などの指導が継続しており、児童への定着がみられる。また休憩時の遊びが徐々に再開されている。一方、低学年においてソーシャルディスタンスの理解が難しい状況が伺える。「掃除」では、児童による掃除が再開される一方、児童が触れる機会が多い場所や物の消毒は継続

している。中止・延期されていた「授業参観、懇談会、家庭訪問など」は、感染防止策の工夫とともに再開されている。「学校行事」では、運動会への参加人数や見学人数を制限したり、遠足・修学旅行の計画を見直すなどの対応が継続している。

4. 考察

コロナ禍においては、従来の学校生活と異なり、児童は大きな変化を経験している。特に特別な教育的ニーズのある児童の中には、登下校の方法や授業時間の変更、学校行事の中止や延期といった様々な変化の影響で混乱したり不安になったりする者も少なからずいると思われる。まず、生活及び学習面の変化について分かりやすく説明したり、具体的な対応策を伝えるなど、状況の理解や変化への適応を促す工夫が求められる。急な変更への対応により生じる児童の不安感や困惑への支援についても検討する必要がある。また、マスクの着用や手指の消毒などについては、感覚刺激への反応を考慮した上で、コロナ禍において求められる生活様式への適応のあり方について考える必要がある。さらに、ソーシャルディスタンスの学習の例でも示されるように、対人・社会的状況の理解やソーシャルスキルの獲得及び般化などに苦手さを示す児童のために、自己や他者の感情や思考の理解を促す取り組みやソーシャルスキルトレーニングなどを活用した指導の工夫が求められる。

登校時の体温チェックや学校内でのマスクの着用、消毒や掃除の指導などは、2020年の臨時休業措置期間以降、学校が再開された後も継続して行われていることが分かった。また、他者との距離の取り方や給食時の留意点など、継続的な支援によって児童に知識とスキルが定着している状況が伺える。一方、授業参観や懇談会、学校行事などは、中止や延期の状態から徐々に再開され、頻度や規模を変えながら継続して行われている。またICTの活用が進み、オンラインによる授業などが行われている。各学校・学級においてクラスター感染など重大なケースは報告されていないことから、以上の取り組みの効果が伺える。またコロナ禍で登校できなくなった児童の報告などはないことから、各学校・学級における特別な教育的ニーズのある児童への指導・支援が適切であることが分かる。

今後は、小学校特別支援学級に在籍する児童だけでなく、通常学級に在籍する特別な教育的ニーズのある児童への指導・支援について、コロナ禍或いはアフターコロナ社会で求められる内容や方法について検討していく必要がある。

表1. 2020年4～9月の状況

	B校	C校	D校
<p>登校時・下校時</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学年及び出席番号で登校時間を分け、1クラスに入る児童の数を制限した上で週の登校日数を増やしていった。登校日に次の登校日までの宿題を配布していた。その後、全児童の一斉登校が始まったが、初めは昼までだった(給食を避けるため)。その後全面再開になった。 ・家庭での検温を行い、健康観察カードに記入してもらった。 ・発熱、風邪症状(頭痛・咳など)がある時や、体調不良のある時は出席停止扱いとなり、欠席数にはカウントされない。 ・家で検温していない児童は学校で検温する。発熱、風邪症状がある場合は、家庭に連絡して帰宅してもらった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・4月～5月中旬は週1登校、前半グループ後半グループに分けて分散登校。宿題を渡す等(臨時休業期間)。 ・5月後半より休業を維持した上で、学級を20人以下のグループに分けて、週1の1時間程度の分散登校。課題の説明や質問への回答、児童の生活習慣の指導等行う(登校については任意)。 ・5月最後の週より、休業を維持した上で、週3回2時間程度の分散登校(前半グループ:午前中、後半グループ:午後から)。それぞれ2コマの授業を行う。 ・6月1日～全面再開(15日から通常通り給食も実施) ・家庭での検温、健康観察カードへの記入を確認する。記入がない場合は、その場で検温する。発熱等の風症状が見られる場合は欠席扱いにしない。 ・学校で発熱した場合は、原則として帰宅する。 ・玄関でマスク着用の声かけをする。 ・登校時、教室に入る前のアルコール消毒を指導。 ・教室内を換気する(クーラー使用で窓とドアを開放する)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2週間に1回、前半・後半に分かれて登校する。 ・地区別の集団登校は中止となった。 ・家庭で検温し、平熱記載する。学校玄関でチェックし、また教室に入る前にもチェックして押印する。忘れた場合は、離れた場所で体温を測定する。 ・登校したら、まず手洗いと消毒をする。 ・遅刻の児童に対し、啓発と授業開始の時間帯を柔軟に対応する。 ・朝休憩時は、遊びに行かない ・下校時、児童が玄関に留まらないうようにする。 ・放課後、学校開放は途中まで中止
<p>教室環境、換気など</p>			<ul style="list-style-type: none"> ・エアコンをつけながら、ドアと窓を開ける。 ・席は前向きである。
<p>給食</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・給食時は会話を控える。話す必要がある時はマスクを着けて話す。全学年でコロナに関する学習を行っているので、給食時は静かにすることができている。 ・以前は輪になって給食を食べていたが、現在は全員前を向いて食べている。 ・歯磨きの際は、少しの水で口をすすぎ、静かに水を吐き出すよう指導している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・給食は各クラスに約2名(担任以外で)教師が支援に入り、配膳を手伝う。 ・私語はせず静かに食べる。同じ方向を向く。 ・給食試食会を中止とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当番は2人程度。お代わりの小皿を用意する。机台ふきは、アルコールとキッチンペーパーで。机は、各自のティッシュペーパーで拭く。

<p>基本的な対策・指導</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・マスクを着けて活動する。マスクを忘れた場合は各学級の予備のマスクをつける。 ・児童と教員が不要に触れ合うことは避けている。一方子ども同士、特に低学年の児童が友達とソーシャルディスタンスを確保するのは難しく、体を引付けて遊んでいることも多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・給食時は会話を控える。話す必要がある時はマスクを着けて話す。全学年でコロナに関する学習を行っているので、給食時は静かにすることができている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ソーシャルディスタンスを取るように声をかける。 ・休憩中の鬼ごっこ、ドッジボールは禁止 ・感染症予防と熱中症予防について指導 ・身体的距離に気を付ける ・プリントは教員が配る。
<p>掃除</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・以前は児童生徒全での机とイス、ドアなどを消毒していたが、現在は複数の子どもが触れる場所に絞って消毒を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後に教室を消毒する。 ・トイレを消毒する。 ・児童による掃除を延期したが、徐々に始める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の消毒（トイレ、教室、廊下の手すり、各机）徐々に減らす。
<p>授業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・調理実習は避けているが、今後、フェイスマスク、マスク、手洗い、消毒を徹底して行う予定がある。 ・複数の児童が同じものを触る活動は控えている（演劇によるお面の使いまわしなどは避ける）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業を観る延期した。 ・家庭訪問を電話にて行う。 ・個人懇談会は希望者のみ実施する。 ・音楽の授業での歌唱やリコーダーを延期するが、徐々に始める。 ・体育の授業を見直す（ボールを使った活動の禁止）。 ・水泳は中止となった。 ・調理実習はなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・研究授業では、同時に実施して、密集しないように。 ・音楽の時間、歌唱、レコーダー演奏は中止。作曲は難しいと感じて、音楽の授業に出席できない。パートに分かれて行うことなど、分らないと訴える児童がいた。
<p>授業参観、懇談会、家庭訪問など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会や遠足などの行事は、消毒、ソーシャルディスタンス、マスクを徹底した上で実施している。運動会は、各学年が25分ずつ入れ替わりで競技を行った。運動場で演技をしている学年以外の学年の児童は、各自の教室でゲームによる運動会生配信を観戦していた。 ・修学旅行は、県外から県内に変更になった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会を延期する（縮小して実施）。 ・祭りが延期となる。 ・修学旅行計画を見直す。 ・始業式、終業式等は、各クラスの教室にて学校長のあいさつ等を放送で聞く。 ・クラブなどの他学年合同活動は延期となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校区での交流会は中止となった。 ・異学年のペア活動は中止となった。 ・集会は中止となった。 ・合宿、修学旅行では、消毒をこまめに、食事時は児童同士が離れて、クラス形式で座る。
<p>学校行事</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会や遠足などの行事は、消毒、ソーシャルディスタンス、マスクを徹底した上で実施している。運動会は、各学年が25分ずつ入れ替わりで競技を行った。運動場で演技をしている学年以外の学年の児童は、各自の教室でゲームによる運動会生配信を観戦していた。 ・修学旅行は、県外から県内に変更になった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会を延期する（縮小して実施）。 ・祭りが延期となる。 ・修学旅行計画を見直す。 ・始業式、終業式等は、各クラスの教室にて学校長のあいさつ等を放送で聞く。 ・クラブなどの他学年合同活動は延期となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校区での交流会は中止となった。 ・異学年のペア活動は中止となった。 ・集会は中止となった。 ・合宿、修学旅行では、消毒をこまめに、食事時は児童同士が離れて、クラス形式で座る。

表2. 2020年10月～2021年10月の状況(表1への追加・変更点)

	B校	C校	D校
登校時・下校時	<ul style="list-style-type: none"> ・病院での診察の結果コロナでなければ、翌日の欠席からは欠席数にカウントされる。コロナであれば、そのあとも出席停止措置となる。 ・コロナ以外の明確な診断が医師から出ている場合には出席停止とはせず、登校もできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭で検温し、健康観察カードに記入し持参する。玄関で声をかける。忘れた場合、その場で検温する。 ・玄関に自動体温計が設置された。 ・記入のない場合、学校で検温する。 ・職員も毎朝出勤前に検温する。 ・手洗いを指導する。 ・発熱等の風邪の症状がある場合は欠席扱いにしない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自由に登校している。 ・玄関前で検温カードを持っているか確認し、各教室で体温を確認する。カードを忘れた場合は、玄関で体温を測定する。 ・地区別ではなく、時間を合わせて集団下校している。
教室環境、換気など		<ul style="list-style-type: none"> ・教室を換気する（窓、ドアを開放）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・換気を徹底する。
給食	<ul style="list-style-type: none"> ・給食時は会話を控える、話す必要がある時はマスクを着けて話すなど、定着している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・低学年の給食は各クラスに約2名（担任以外で）教師が支援に入り、配膳を手伝う。 ・会話せず静かに食べる。同じ方向を向く。 ・給食試食会は中止とした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・消毒を徹底する。 ・給食台をアルコール消毒してキッチンペーパーで拭く。 ・児童机をアルコール消毒後、各児童が持参したティッシュで拭く。 ・配膳時、混まないように列ごとに取りに行く。 ・給食当番は、できるだけ少ない人数で（2、3名）行う。 ・食事前は、手を洗ってからアルコール消毒する。 ・給食中は前を向き、話さず食べる。 ・給食室が混雑しないようにワゴンで返却する。おかわりの小皿を用意する。1度入れた分は減らさない。 ・歯磨きは、歯磨き粉を付けずに行う。
基本的な対策・指導	<ul style="list-style-type: none"> ・マスクの着用や手洗い、消毒といったコロナ対策は定着している。マスクの着用など、コロナのある生活に慣れ適応できている。一方で、子ども同士の距離の近さ、ソーシャルディスタンスをとることは、特に低学年の子ども達の間ではまだ難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マスクを着用する。体育、休み時間の運動時は外してもよい。担任が声をかけることもある。 ・こまめな手洗いを指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝休憩は、座席で過ごす。 ・ボールの使用、鬼ごっこは中止だったが、再開した。 ・外から戻ったら、手洗いをする。

<p>掃除</p>	<p>・以前は児童全ての机とイス、ドアなどを消毒していたが、現在は複数の子どもが触れる場所に絞って消毒を行っている。</p>	<p>・トイレを消毒する。</p>	<p>・手洗い場の整列用のテープを外した。 ・共有物を使用後、手洗いを徹底する。使用後に消毒する。 ・拭き掃除、トレイ掃除、手洗い場の掃除は中止だったが再開した。</p>
<p>授業</p>	<p>・感染拡大のため、夏休みが8月いっぱいまで延期された。延期した間は、追加の課題や、オンライン授業はなかった。 ・5年生の工場見学が中止になった。オンラインで工場の様子を見学したり、従業員の方と児童がオンラインで会話する学習ができた。 ・特別支援学級でオンライン授業を行った。Google classroomとmeetを用い、画面共有やミュート、挙手機能を活用したりと子どもたちからはとても楽しそうに学習できている。算数や国語の学習も進めることができた。</p>	<p>・音楽の授業で、歌唱やリコーダーを行なっている。 ・体育の授業を見直し、ボールを使った活動を再開した。水泳を再開する。各クラスで3回ずつ実施する。 ・調理実習を再開する。昨年度できなかった6年生も2学期より実施する。</p>	<p>・児童同士の身体的距離、声量に留意する。グループでの活動時に気をつける。 ・登校できさない児童のために、オンラインで授業を行う学級もある。 ・特別支援学級の自立活動は、体育館で行う。 ・家庭のWi-Fi環境を調べて、全家庭でパソコン学習が行えるよう練習した。 ・学年で合わせて、家庭に持ち込める日を設けて、課題をこなすようにした。 ・研究授業をオンラインで他の教室の先生の人数を制限しうにした。参観する他学校の先生の人数を制限した。 ・音楽の授業で、歌唱・レコーダー・鍵盤ハーモニカの演奏を中止していたが、再開した。 ・家庭科の授業で、ミシンを中止していたが再開した。調理実習は12月の合宿前に行う。</p>
<p>授業参観、懇談会、家庭訪問など</p>	<p>・去年は行えなかった学校美術展(体育館に全学年の児童の図工作品を飾り、保護者の方に開放する活動)を実施した。美術展を行う際は、児童が会場設営をする時間を学年ごとにずらす、保護者の方に検温と消毒を求める、常時換気するなどの対策を行った。</p>	<p>・授業参観を再開する。1・2学期に1回ずつ、学級を出席番号順で2つに分けて実施する。 ・個人懇談会は希望者のみ実施する。 ・家庭訪問を再開する。</p>	<p>・家庭訪問は、家に入らず玄関先で行う。 ・日曜参観は中止とする。春・秋の参観は、名前の順で2回に分けて実施する。各家庭1名の参加とする。</p>

<p style="text-align: center;">学校行事</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校美術展や出前授業など学校外の方を招く機会が増えた。感染症対策をしながらも、できる活動が増えてきている。 ・運動会や遠足などの行事は、消毒、ソーシャルディスタンス、マスクを徹底した上で実施。運動会は、低・中・高の3ブロックに分かれて入れ替わりで競技を行った。 ・運動場で演技をしている学年以外の学年の児童は、各自の教室でズームによる運動会生配信を観戦。 ・修学旅行は、県外から県内に変更。 	<ul style="list-style-type: none"> ・修学旅行の計画を見直した。 ・始業式、終業式等は、各クラスの教室で学校長のあいさつ等を放送で聞く。 ・夏休みは7/21日～8/25日、緊急事態宣言のため31日まで延長した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・合宿・修学旅行は延期になった。 ・児童の座り方を工夫する。 ・消毒を徹底する。 ・運動会の体育館での実習は、学年単位で行う。一斉に体育館に入らない。 ・中学校区での特別支援学級交流会は中止となった。 ・遠足は、春と秋に実施する。バスで移動する。 ・運動会は各家庭2名の参加とする。午前中のみ実施し、弁当は持参しない。 ・児童同士の間隔を確保する。 ・ハチマキなどは個別で管理する。番号を付けて、運動会後に回収する。 ・ペア活動（2年生が1年生を招待する活動）を再開した。縦割り活動は行っていない。
--	---	---	--

【文献】

文部科学省（2020）特別支援学校等における新型コロナウイルス感染症対策に関する考え方と取組について（通知）。https://www.mext.go.jp/content/20200619-mxt_kouhou01-000004520_1.pdf

文部科学省（2021）新型コロナウイルス感染症に対応した持続的な学校運営のためのガイドラインの改訂について（通知）。https://www.mext.go.jp/content/20210219-mxt_syoto01-000007775.pdf

武田鉄郎・竹澤大史・寺尾朗代・黒江純子・中谷愛・小畑伸五・畑香織（2021）コロナ禍、ポストコロナ社会における特別支援学校の対応及びコンサルテーションの実際。和歌山大学教職大学院紀要学校教育実践研究、5、1-13

大谷博俊・伊藤弘道・高原光恵・佐藤長武・尾関美和・高島裕子・山下幸（2021）ウィズコロナ時代における特別支援教育実践を問う—2020年度におけるA県小学校・中学校の事例を通して—。鳴門教育大学研究紀要、36、77-100